



教職員研修の概要や調査研究の成果など
総合教育センターの取組と様々な教育情報を
発信しています。
ぜひ教職員の皆さまも
フォローをお願いします。



県教委だより

豊かな学びで 未来を拓く埼玉教育

No. 714

令和2年(2020年)1月21日発行

新しい年を迎えて

子供も教職員も「学び合う」埼玉県に

埼玉県教育委員会教育長 小松 弥生



明けましておめでとうございます。皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

スポーツに関して

いよいよ今年は東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催年です。県内でも4つの競技が行われます。昨年のラグビーワールドカップは、「One Team」というすばらしいレガシーを残してくれました。オリンピック・パラリンピックも、ひたむきに限界に挑戦する力や異なる民族や文化の相互理解など日本人の心に様々なものをもたらしてくれます。ラグビーから始まった熊谷市教育委員会の取組は大変参考になります。

また、今年8月には、高校生アスリートにとって最大のスポーツの祭典であるインターハイのうち、少林寺拳法競技が埼玉県立武道館(上尾市)で開催されます。来県する全国の高校生に対して、地元の高校生たちを中心に、おもてなし・広報活動を行ってまいりますので、是非、応援してください。

教育に関して

小学校では、4月から新学習指導要領が全面实施となります。中学・高校でも新学習指導要領に向けての準備が続けられます。いずれの学校種でも、「主体的・対話的で深い学び」の視点から、「何を学ぶか」だけでなく、「どのように学ぶか」も重視した授業改善とカリキュラムマネジメントが求められます。

OECDのPISA(国際学力到達度調査)では、課題解決型能力(PISAの区分では「読解力」)について、日本の順位が大きく低下しました。まさに、新学習指導要領で身に付けようとしている力です。

本県では、小・中学校においては、子供たち同士が学び合う場を充実させるとともに、「県学力・学習状況調査」を活用して、一人一人の学力を伸ばす取組と、各学校の教育力の向上を県教育委員会として支援してまいります。

高等学校では、全校で展開している協調学習の取組を拡大するとともに、グローバル化の進展に対応する力を育む教育や科学技術分野の人材育成にも努めてまいります。また、ICT整備も進めてまいります。

小中高ともに、効果的な教授方法や教材の共有が図られるよう、県教育委員会では、仕組みを構築しつつあります。教育における「One Team」とも言えます。他の教員、他の学校の優れた取組を学び、取り入れて、自分なりの、自

校なりのやり方を高めていってほしいと思います。

今後の若年人口減少に対応するため、昨年から高校再編の準備をしております。教職員をはじめ、地域や学校関係者の皆様のご意見を伺いながら、再編後の新校が魅力ある高校となるよう、具体的な検討を進めてまいります。

特別支援教育においては、インクルーシブ教育システムの構築に向け、「多様な学びの場」をさらに充実させるため、特別支援学校の環境整備や人材育成など、特別支援教育を推進するための環境整備に取り組んでまいります。

小川町の「学校と地域の未来を創ろう!プロジェクト」では、小・中学校の児童生徒と小川高校の生徒が小川町の文化や歴史、産業等について理解を深め、地域活動への参画や地域課題の解決に取り組む『おがわ学』の構築・実践を進めています。

家庭や地域と連携した取組としては、「親の学習」による家庭教育の充実を図るとともに、地域全体で子供たちの学びや成長を支える「学校応援団」や「放課後子供教室」など「地域学校協働活動」を引き続き推進してまいります。

文化財に関して

行田市の「埼玉古墳群」が国の特別史跡に指定されることとなりました。埼玉県における特別史跡の指定は、今回が初めてです。これを機会に、県民の皆さまには、身近な文化財に、より親しんでいただきたいと思います。

昨年、県内の狛犬の写真をインスタグラム上で応募・投票を呼び掛ける「#101匹の埼玉狛犬」を行ったところ、739件の投稿、95,970票の投票がありました。今年も新たなテーマを設けて実施し、指定の有無にかかわらず文化財に光を当てる取組に努めてまいります。

働き方改革の推進

県教育委員会では、昨年9月に「学校における働き方改革基本方針」を策定しました。教職員が心身ともに健康で、「最高の自分」を發揮できることが、子供たちにとって最も大切です。学校における働き方改革が円滑に行われるよう、学校の負担軽減や勤務管理システムの導入と健康相談の充実など、県教育委員会としては、現場の最前線である学校、教職員の皆さんを全力でバックアップしてまいります。

結びに、本年が皆様にとりまして、明るく希望に満ちた実り多い年となりますよう心から祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

彩の国教育の日

(生涯学習推進課)

本県では、教育に関する関心と理解を深め、学校・家庭・地域の連携の下、県民と一体となって教育に関する取組を推進する契機となるよう、11月1日を「彩の国教育の日」、11月1日から7日までを「彩の国教育週間」としています。「彩の国教育の日」を中心とした10・11月には、学校・家庭・地域が連携した、教育に関する様々な取組が県内各地で実施されました。



彩の国教育の日

彩の国教育の日シンボルマーク

【埼玉・教育ふれあい賞】

県では、「彩の国教育の日」の取組の一環として、優れた教育活動を実践している団体や学校を「埼玉・教育ふれあい賞」として表彰しています。10月19日(土)には、埼玉県県民活動総合センターにて、令和元年度「埼玉・教育ふれあい賞」表彰式を開催しました。37の表彰団体に細川紙で作られた表彰状と記念品を授与するとともに、3つの団体による取組紹介や、各団体が作成した取組内容を説明するパネルの展示を行いました。



「埼玉・教育ふれあい賞」表彰式

【表彰団体の取組：県立草加かがやき特別支援学校草加分校、県立草加西高等学校の取組】 【共生社会の実現に向けた交流及び共同学習】

草加かがやき特別支援学校草加分校と草加西高校の生徒は、同じ校舎で一緒に学校生活を送っています。

4月の交流式では、両校の生徒が一堂に会し1年間の交流、共同学習をスタート。このような活動は両校の教育課程にしっかりと位置付けられ、継続的に実施しています。共生社会の実現を目指す特別支援教育及び高校教育の在り方として、その意義は極めて大きく、生徒の生きる力の育成に貢献しています。



共同で行う体育祭

県、市町村、各学校、各種団体の取組や令和元年度「埼玉・教育ふれあい賞」表彰団体の取組は、県教育委員会のホームページで紹介しています。

[彩の国教育の日](#)

[検索](#)

【問合せ】生涯学習推進課 地域連携担当 (電話:048-830-6979)

「魅力ある県立高校づくり第1期実施方策」を策定しました

(県立学校部魅力ある高校づくり課)

県教育委員会では、「魅力ある県立高校づくり第1期実施方策」を12月に策定しました。

「地域産業を支える人材を育成する高校」として児玉白楊高校と児玉高校を統合し「児玉新校」を、「進学を重視した地域と協働する高校」として飯能高校と飯能南高校を統合し「飯能新校」を、令和5年度に開校します。今後、「新校基本計画」の策定に向けた委員会を開催し、新校が地域にとって魅力ある高校となるよう、教職員をはじめ、地域や学校関係者の御意見を伺いながら検討を進めていきます。

あわせて、「魅力ある県立高校づくり第1期実施方策(案)」に対する意見募集(県民コメント)の御意見と県の考え方を一覧にまとめ、公表しました。

県教育委員会のホームページで公開しています。

右記のQRコード、または下記の検索ワードから御覧いただけます。



埼玉県 魅力ある高校づくり 実施方策

[検索](#)

【問合せ】魅力ある高校づくり課 (電話:048-830-6902)

高校生の「農力」育成強化プロジェクト

(高校教育指導課)

本事業は、農業を学ぶ高校生の就農・就業意欲を喚起し、経営感覚や国際感覚、チャレンジ精神を持った農業経営者等となり得る人材を地域に輩出することを目的としています。

具体的には、県内全ての農業高校で「GAP」の認証を取得するとともに、東京2020オリンピック・パラリンピックにおける食材提供や海外での農産物販売を目指した取組です。



農林部職員による GAP 現地演習

<GAPとは>

生産活動の持続性を確保するため、食品安全・環境保全・労働安全などについて記録・点検・評価し、生産工程の管理や改善を行う取組

<県内農業高校のGAP認証取得状況(令和元年12月13日現在)>

- ・GLOBALG.A.P. 令和元年11月25日 杉戸農業高校(梨)
- ・S-GAP実践農場2020※
平成31年3月15日 杉戸農業高校(米・梨) 平成31年3月20日 熊谷農業高校(野菜)
平成31年4月15日 羽生実業高校(米) 令和元年7月3日 いずみ高校(野菜)

※S-GAP実践農場2020とは、平成29年度に県が独自に創設した評価規格。東京オリンピック等の調達基準に対応している。



「みつ」製造実習

また、本事業では、秩父農工科学高校が、地域資源としてのハチミツに着目し、年間を通して安定的に生産できる「みつ」の製造技術を開発して地域の養蜂家へ普及させることで、地域の活性化を図る取組なども行っています。

【問合せ】 高校教育指導課 産業教育・キャリア教育担当 (電話:048-830-6769)

次代を担う産業人材イノベーション事業

(高校教育指導課)

本事業は、明日の埼玉の産業界を担う高度専門職業人材を育成するため、地域の企業・商店街や研究機関等と連携した実践的な職業教育を行い、専門的な知識や技術、技能の習得とともに、商品開発や技術開発を行えるイノベーション人材の育成を図ることを目的としています。具体的には、次の3分野で内容を構成しています。

● 専門技術・技能分野

農業や工業、商業、家庭、看護、福祉の各職業分野のプロから、生徒が実践的な指導を受けます。

● 地域創生分野

地域の企業や団体等と連携・協働した取組により、地域を理解し、学校周辺の地域を活性化させるとともに、取組の内容を情報発信することで、地方創生の一助を担います。

● 先端産業分野

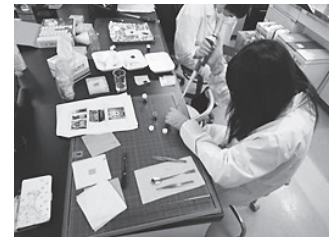
川越工業高校と理化学研究所が連携し、安定的かつ効率的な水素システムの技術開発を行うとともに、水素燃料電池を活用した鉄道模型の製作を目指します。



「専門技術・技能分野」
果樹農家による剪定指導



「地域創生分野」
企業との開発商品検討会



「先端産業分野」
触媒製作

【問合せ】 高校教育指導課 産業教育・キャリア教育担当 (電話:048-830-6769)

文部科学省・埼玉県教育委員会委託 人権教育総合推進地域事業及び人権教育研究指定校事業の取組 ～子供たちに豊かな人権感覚を育むために～ (人権教育課)

県教育委員会では、文部科学省から委託を受け、県内3地域及び2校の協力のもと、人権教育に関する調査研究を推進しています。

●事業の内容

事業名	人権教育総合推進地域事業（期間 3 年）	人権教育研究指定校事業（期間 2 年）
推進地域・学校	杉戸町、滑川町、新座市	三郷市立八木郷小学校、深谷市立上柴東小学校
実践内容	学校・家庭・地域社会が一体となった人権教育の総合的な取組の研究	人権意識を培うための学校教育の在り方の研究

●今年度の研究発表

研究の最終年度である杉戸町と三郷市立八木郷小学校が、これまで実践した取組とその成果について発表しました。

発表校等	杉戸町（杉戸町人権教育総合推進会議）	三郷市立八木郷小学校
発表日	令和元年11月6日（水）	令和元年11月1日（金）
研究主題	「みんなで支え合い 思いやりと絆を育む まちづくり」	「自発的に活動し、豊かな生活づくりに取り組む子の育成」 ～豊かな人間関係づくりを通して 人権感覚を育む学級活動の展開～
実践内容	○自他を大切に、よりよい集団づくりを目指す児童生徒の育成 ・町内全9小中学校、行政、家庭・地域による町ぐるみで人権意識を培う取組 ・系統性を分かりやすくするための人権教育年間指導計画の作成 ・「人権感覚育成プログラム」の活用 など	○学級の諸問題を話し合い、自他の立場を考えながら、よりよい集団決定による望ましい人間関係と人権感覚を育む取組 ・学級会や児童会を通じた集団活動の実践 ・自主的・自発的な活動による児童の人権感覚の育成 ・学力形成の基盤を築く環境づくり など

研究発表では、学習指導案に「人権教育上のねらい・視点・配慮」を明確に位置付けた授業が公開され、「埼玉県版人権学習に係る質問紙」を活用し、児童生徒の人権感覚の育成状況を客観的に評価する取組などが報告されました。



杉戸町 感謝集会の様子



三郷市立八木郷小学校
学級会オリエンテーション

研究成果は、県教育委員会が発行する人権教育の指導資料に掲載するほか、研修会等を通してお知らせする予定です。

【問合せ】 人権教育課 人権教育担当（電話：048-830-6892）

地域学校協働活動の推進

(生涯学習推進課)

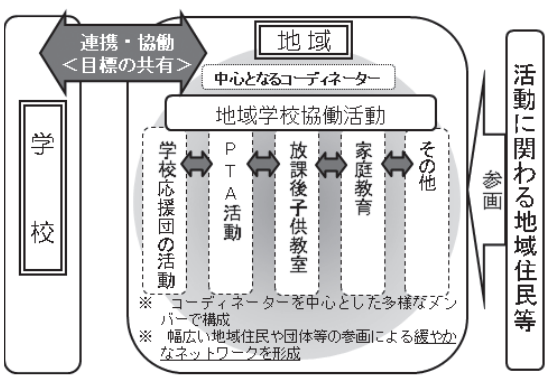
「地域学校協働活動」とは、幅広い地域住民等の参画を得て、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動のことです。これまでの学校支援との違いは、地域が学校や子供たちを応援するという一方の関係から、双方向に意見をすり合わせ、互いの役割を認識し合って協働するということです。

埼玉県では、学校応援団活動を軸として、学校と地域がパートナーとして子供たちを育成していく「地域学校協働活動」を推進しています。



朝霞市立朝霞第四小学校 『防災フェスティバル』

『埼玉県版地域学校協働活動』のイメージ



【問合せ】 生涯学習推進課 地域連携担当（電話：048-830-6979）

小・中学校等における事務の共同実施の取組

(小中学校人事課)

令和元年4月現在、県内46の市町村で、小・中学校等事務の共同実施が導入されています。共同実施では、数校でグループを形成し、事務処理の相互確認、情報共有など各種事務を協力しながら、組織的に事務処理を行っています。これにより、事務処理の正確性の向上、職員の資質向上、学校間の連携強化などの成果が挙げられています。

また、平成29年3月には、事務処理のさらなる効果的な実施や事務の体制強化を目的に、法律の改正により、「共同学校事務室」が制度化されました。

市町村において、拠点となる学校に「共同学校事務室」を設置し、教材・教具などの共同購入や教職員の給与・旅費の支給に関する事務などを共同処理しています。事務職員は、各校を本務校としながらも、設置校を定期的に訪問し、共同処理の事務に従事しています。県内では現在、三芳町、嵐山町、神川町の3町に設置されています。



数校の事務職員が共同処理を行う「共同学校事務室」の様子

【問合せ】 小中学校人事課 総務・定数管理・共同実施担当 (電話:048-830-6935)

令和元年度第52回埼玉県高等学校定時制通信制生徒生活体験発表会

(高校教育指導課)

令和元年10月5日(土)にさいたま文学館で「令和元年度第52回埼玉県高等学校定時制通信制生徒生活体験発表会」が開催されました。定時制通信制高校で学ぶ生徒たちが、幾多の困難を乗り越え、学びの中で成長する姿や将来の目標を見いだせた喜びなどを発表する機会として、生徒生活体験発表会が開催されています。今大会も、各地区大会で選ばれた代表計16名の生徒が、それぞれ抱えている困難な環境の中で、自らの将来を切りひらくために頑張り、苦勞と努力の体験を堂々と発表しました。

生徒生活体験発表会は、毎年10月に開催され、多くの人に大きな感動と深い感銘を与えております。どなたでも参観できますので、是非御来場ください。

最優秀賞を受賞した越ヶ谷高等学校の妹尾マリイさん(2年生)が、11月17日(日)に東京都内で開催された全国高等学校定時制通信制生徒生活体験発表会に埼玉県の代表として出場しました。



発表テーマ「居心地のよい場所」
越ヶ谷高校・妹尾マリイさんの発表の様子

【問合せ】 高校教育指導課 産業教育・キャリア教育担当 (電話:048-830-6772)

県立博物館等の情報

施設名(所在地)	展示・イベント情報など	展示・募集期間など	問合せ
歴史と民俗の博物館(さいたま市)	企画展「縄文時代のたべもの事情」	1月2日(木)から 2月16日(日)まで	048-645-8171 展示担当
さきたま史跡の博物館(行田市)	テーマ展「埼玉の中・近世～発掘された道沿いの風景～」	2月22日(土)から 5月31日(日)まで	048-559-1181 資料・展示担当
嵐山史跡の博物館(嵐山町)	企画展「戦国大名は如何にして軍需を調達したか」	11月30日(土)から 2月16日(日)まで	0493-62-5896 学芸担当
近代美術館(さいたま市)	企画展「森田恒友展」	2月1日(土)から 3月22日(日)まで	048-824-0111
自然の博物館(長瀬町)	企画展「地図と模型で見る埼玉の大地」	2月11日(火・祝)から 6月21日(日)まで	0494-66-0407 自然担当
川の博物館(寄居町)	冬期企画展「雨展」	1月25日(土)から 2月16日(日)まで	048-581-7333 川の博物館
文書館(さいたま市)	記念企画展 国指定重要文化財埼玉県行政文書公開「鉄道の埼玉ー明治から現代へー」	1月14日(火)から 3月8日(日)まで	048-865-0112 史料編さん担当
さいたま文学館(桶川市)	企画展「太宰治と埼玉の文豪展 さいたま文学館×『文豪とアルケミスト』」	1月18日(土)から 3月8日(日)まで	048-789-1515 文学担当

埼玉県芸術文化祭30周年記念シンポジウム

「未来へ種をまく。ー芸術文化の役割を考えるー」を開催しました (文化資源課)

県教育委員会、埼玉県芸術文化祭実行委員会等の主催により、芸術文化の社会的役割について考えるシンポジウムが11月24日に開催されました。

基調講演は、文化行政のアドバイザーとして全国的に活躍されている衛紀生氏(可児市文化創造センター館長兼劇場総監督)が講師を務めました。

続くパネルディスカッションでは、県外有識者のほか、小松弥生県教育長、県立近代美術館の平野学芸主幹がパネリストとして参加し、「若い世代の成長に芸術文化が寄与できること」をテーマに意見交換が行われました。演劇のワークショップを通じて生徒の問題行動が激減した岐阜県立東濃高校の事例なども紹介されました。



ソニックシティ第5展示場にて開催

参加者アンケートから

- 若者の承認欲求を満たし、自己肯定感を高めるために、芸術文化の果たす役割が大きいことが理解できた。
- 衛氏の話にあった「芸術文化のコストは社会的投資」「積極的な福祉政策として文化行政を考える」等の観点にハッとさせられた。

【問合せ】文化資源課 芸術文化推進担当(電話:048-830-6921)

県議会12月定例会(一般質問)における教育委員会関係答弁(会期12月2日～12月20日)

日付	質問者名(会派)・質問項目(答弁者)
12月6日(金) 一般質問	井上将勝議員(民主フォーラム) ○時代に合わせ、性教育のアップデートを
12月9日(月) 一般質問	深谷顕史議員(公明) ○令和元年台風第19号被害を踏まえて ・県立学校体育館のエアコン整備、照明LED化について(知事) 前原かつえ議員(共産党) ○知ってください!!本当につらい香りの害
12月10日(火) 一般質問	中川浩議員(改革) ○埼玉版SDGs「誰1人見捨てない」の具現化(知事) ・教育 私立高校が定員割れにならず、県立高校が定員割れになっている1つの要因「一画一的な入試問題」 県内の特別支援学級に、本人の意思に反し、在籍した子達の心境をどう受け止めますか ・アタッチメント(愛着)教育 石川忠義議員(県民) ○台風第19号被害の教訓から市町村と協力して避難所の運用改善を進めるべき ○進路の定まらない高校生への支援について ○中学生学力アップ教室事業の充実をすべき

日付	質問者名(会派)・質問項目(答弁者)
12月11日(水) 一般質問	藤井健志議員(自民) ○命を守る非常用発電設備について(知事) ○魅力ある県立高校づくりと再編整備について ○国際バカロレア認定校の設置について ○特別支援学校の教室不足による過密解消へ向けた取組について 東間亜由子議員(民主フォーラム) ○教育環境の充実について ・埼玉県学力・学習状況調査の更なる発展について ・教育現場におけるICT環境の整備について ○虐待に関する教育の推進について ○ラグビーの更なる普及・発展について ○学校における働き方改革の推進について ○高校入試における不公平の解消について
12月12日(木) 一般質問	横川雅也議員(自民) ○学校におけるICT環境整備の促進について 中屋敦慎一議員(自民) ○県立近代美術館などの美術品や文化財の水害対策について

*答弁者が空欄の場合は、教育長が答弁者です。

県議会答弁は
こちらから

埼玉県議会定例会概要

検索

☆県教委だより(No.715号)は、令和2年(2020年)3月19日に発行を予定しています。

発行●埼玉県教育委員会 編集責任者●教育総務部総務課長 岡部 年男 TEL●048(830)6714

☆「県教委だより」バックナンバーはこちらから

